

ATF-PF FeCrAl-ODS SWG 第3回 SWG 会合 議事録(案)

日時: 2026年6月11日(木) 13:30-16:00

場所: 東京大学 および Microsoft Teams オンライン会議

対面参加者(13名、敬称略):

生澤(GNF-J)、坂本(NFD)、楨井(神戸製鋼)、阿部・成川(東大)、高木・土屋(東京電力)、山下・大久保・阿部・鶴飼・加治・福田(JAEA)

web参加者(21名、敬称略):

松永(GNF-J)、山岡(NFD)、山本・守屋(中国電力)、武井・原田・天野(中部電力)、樽見・河村(電中研)、鶴田(東京電力)、大野(東北大)、小川(原電)、佐々木・瀬戸・長瀬(日立 GE ベルノバ)、細川(日立製作所)、福元(福井大)、山本(北陸電力)、岡・橋本(北大)、佐藤(北海道電力)

資料配布のみ(9名、敬称略):

土淵(電源開発)、中森(電中研)、杉野(IEEJ)、安田(日立 GE ベルノバ)、中山・金岡(北海道電力)、三輪・矢野・大塚(JAEA)

議事摘要:

- 第3回会合では、これまでの進め方の整理段階から一歩進め、FeCrAl-ODS 被覆管に関するPIの具体的議論に着手した。事前に収集した意見を基に、主に現象・メカニズムに関する論点整理と、PI整理表への反映方針について議論が行われた。
- 特に、水化学挙動に関して、FeCrAl-ODSの溶出挙動や放射化の影響についてはデータが十分でなく、HWC・NWC両条件による金属元素別溶出速度の定量的把握が将来的な重要課題として見出された。
- 加えて、Zryベースの従来PIRTでは扱い切れていない論点として、腐食・溶出・直接放射化に対する被ばく低減、停止時・定検時の地震時挙動、BCC特有の脆化や機械特性変化、溶出の機器への影響等が新たに抽出された。これらは、本SWGのアウトプットであるPI整理表への新規追加が必要とされるものであり、本SWGの重要な成果と位置付けられた。

配布資料:

- 資料3-1: 第3回 SWG 会合 議事次第
- 資料3-2: 第3回 SWG 会合の進め方等
- 資料3-3: 集まったご意見の分類・PI議論シート(2026.6.11版)
- 資料3-4: FeCrAl-ODSのPI整理表(案)
- 参考資料3-a: 運営要綱及び秘密保持誓約
- 参考資料3-b: 第2回 SWG 会合 議事録案(公開用)
- 参考資料3-c: 第2回 SWG 会合 議事録案(備忘用)
- 参考資料3-d: 第2回 ATF-PF 全体会合議事録(公開用)
- 参考資料3-e: FeCrAl-ODS SWG 参加者リスト(2026.6.11版)
- 参考資料3-f: FeCrAl-ODS 展開表3(案)

以上